

令和3年度 野田市社会福祉協議会 事業報告

近年、少子高齢化や核家族化が急速に進み、価値観やライフスタイルの多様化などにより、人と人とのつながりやコミュニティ意識の希薄化、介護や子育てへの不安、高齢者の孤立、児童虐待への対応や障がい者の自立支援など求められる福祉ニーズも多様化しています。

国は、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指す「地域共生社会の実現」を目指しています。

しかし、近年の地域社会の主な課題は、少子高齢化、地域や家族の疎遠化が起因することが多くみられることから、「助け合い」、「つながり」といった人と人を結ぶ活動を中心とする地域福祉が求められています。

その中で、令和2年からの新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に広がり、日本でも急速に感染者が増えてきました。令和2年2月下旬からは、公共施設の閉鎖、外出禁止・自粛が促され、イベントの中止や制限、学校の休校や行事の中止、人と会うことへの不安やストレスなど身近な生活に大きな変化をもたらし、未だ終息の兆しが見えてきません。

さらに、ここ数年では、全国各地で自然災害が発生しており、被災地では、復旧・復興のための災害ボランティアの活動が注目されており、地域の「つながり」の重要性も再認識されています。

野田市社会福祉協議会では、「ふれあいと支えあい、福祉の心豊かなまちづくり」を基本理念として、地域社会全体で問題解決に取り組み、市民が自立し、安心して暮らせる心豊かな福祉社会の実現をするため、令和3年3月に野田市地域福祉活動計画（第3次）を策定し、3つの計画の基本目標及び基本方針「住民参加による地域福祉活動の推進」「地域包括ケアシステムの確立」「社会福祉協議会の活動基盤の強化」を設定しました。今後は、各目標に沿った各種の福祉事業に取り組んでまいります。

また、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮された方（世帯）に対して生活費等の資金の貸付を行う緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の相談が多く寄せられ、令和3年度においても申請受付業務を継続しました。

最後に、本年度の事業成果をふまえ、今後ますます多様化・高度化する福祉ニーズに対応していくよう法人運営の強化及び事業活動の充実に努めてまいります。

（重点事業について）

(1) 地区社会福祉協議会の活動強化については、地区社協連絡会とボランティアスタッフ懇談会の共催で、SL 災害ボランティアネットワークから講師を招き、災害ボランティアセンターについての講演を行いました。

各地区社協活動については、ふれあい・いきいきサロン、お楽しみ会、研修会等の様々な活動を計画し、実施予定となっておりましたが、令和3年度においても、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からほとんどの活動が中止となりました。

野田市社会福祉協議会では、コロナ禍における地区社会福祉協議会の活動方針を示すため、「新型コロナウイルス感染症に配慮した地区社協活動ガイドライン（改訂版）」を作成し、各地区社協に配布しました。

(2) ボランティア活動の推進については、「一人ひとりがより豊かに地域で共に生きる社会」を目

指し、ボランティア活動をしたい方と支援を受けたい方の調整をはじめ、ボランティアの掘り起こしのため、社協ホームページを活用して情報提供に努めました。

令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動を希望する方や施設からのボランティア活動の要請は減少となりました。

市民ふれあいハートまつりについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりましたが、ポスターコンクールを実施し、市役所ふれあいギャラリー及び中央公民館講堂にて、作品の展示を行いました。

- (3) 福祉教育の推進については、市内小中学校の児童生徒・教職員の福祉への理解と関心を高め、福祉の心を育むために学校・地域との連携を強化するとともに、一部の地区では、地区社会福祉協議会の協力者と共に小学校へ出張講習に出向き、車いす体験講座を通して障がい者への理解を深めることができました。

また、千葉県及び千葉県社会福祉協議会から岩木小学校、岩名中学校、清水高等学校、西部地区社協が福祉教育推進校及び推進団体に指定（三年間）され、学校と地域が連携して地域の実情に合わせた福祉教育を推進しました。

- (4) 在宅福祉サービスの推進強化については、新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、育児支援家庭訪問事業訪問員派遣業務、ファミリー・サポート・センター事業、車いすや車いす対応自動車貸出事業などの、子育て家庭、高齢者、障がい者などに対する幅広い支援に取り組みました。

- (5) 野田市成年後見支援センターの運営については、認知症や精神障がい、知的障がいなどの理由で判断能力が十分でない方が、地域で安心して暮らすため、利用者本人の意向や判断能力・生活状況等に応じて必要な支援を行えるよう、成年後見制度や日常生活自立支援事業を活用し、総合的なサービス提供に努めました。

また、成年後見制度や日常生活自立支援事業についての講座を開催し、普及啓発活動を行いました。

- (6) 地域福祉支援活動の充実強化については、視覚障がい者の外出援助等を行う同行援護事業、手話奉仕員養成講座を開催しました。

また、要援護者（世帯）への支援では、福祉資金の相談及び貸付等を行い、生活の安定と自立更生の促進を図るなど市民ニーズに応じたサービスを提供しました。

特に新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入の減少や失業等により生活に困窮された方（世帯）に対して生活費等の資金の貸付を行う緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の相談が多く寄せられ、速やかな貸付に努めました。

- (7) 組織及び事業・財政基盤の強化については、会員の加入促進に努めるとともに、各公共施設に自動販売機を設置し、市民の利便性の向上と自主財源の確保に努めました。また、歳末たすけあい配分事業として、歳末見舞金の配布、訪問理美容サービス事業、エアコン・クリーニングサービスを実施しました。

広報啓発活動については、広報紙「社福のだ」及び社会福祉協議会のホームページを活用するとともに、Twitter及びFacebook、Instagramで情報提供に努めました。

1. 理事会・評議員会・専門委員会

(1) 理事会

①令和3年6月4日 午前10時 第3会議室

- ・議案第1号 令和2年度事業報告について (承認)
- ・議案第2号 令和2年度会計収支決算について (承認)
- ・議案第3号 令和3年度社会福祉事業会計資金収支補正予算(第1号)(案)について (可決)
- ・議案第4号 令和3年度収益事業会計資金収支補正予算(第1号)(案)について (可決)
- ・議案第5号 定時評議員会の開催について (可決)
- ・議案第6号 評議員選任・解任委員会の開催について (可決)
- ・議案第7号 評議員選任候補者の推薦について (可決)

②令和3年6月25日 午後1時30分 第3会議室

- ・議案第1号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会会長の選定について(渡辺隆理事を選定)
- ・議案第2号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会副会長の選定について
(鳩宿守理事、五味良仁理事を選定)
- ・議案第3号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会常務理事の選定について(小林幸男理事を選定)

③令和3年9月17日 決議の省略による開催

- ・議案第1号 評議員会の開催について(令和3年10月22日) (可決)

④令和3年10月22日 午前10時 第1会議室

- ・議案第1号 臨時職員賃金要領の一部を改正する要領の制定について (可決)
- ・議案第2号 令和3年度社会福祉事業会計資金収支補正予算(第2号)(案)について (可決)
- ・職務執行状況報告について (報告)

⑤令和4年1月14日 決議の省略による開催

- ・議案第1号 評議員会の開催について(令和4年2月15日) (可決)

⑥令和4年2月15日 決議の省略による開催

- ・議案第1号 令和3年度社会福祉事業会計資金収支補正予算(第3号)(案)について (可決)
- ・議案第2号 評議員会の開催について(令和4年3月25日) (可決)

⑦令和4年3月25日 決議の省略による開催

- ・議案第1号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会同行援護事業所虐待防止及び身体拘束適正化委員会設置要綱の制定について (承認)
- ・議案第2号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会委員会規程の一部を改正する規程の制定について (承認)
- ・議案第3号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について (承認)
- ・議案第4号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会就業規則の一部を改正する規則の制定について (承認)
- ・議案第5号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部を改正する規則の制定について (承認)
- ・議案第6号 役員等賠償責任保険契約について (可決)
- ・議案第7号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会財政調整基金の処分について (可決)
- ・議案第8号 令和3年度社会福祉事業会計資金収支補正予算(第4号)(案)について (可決)

- ・議案第9号 令和4年度事業計画（案）について (可決)
- ・議案第10号 令和4年度会計収支予算（案）について (可決)
- ・職務執行状況報告について (報告)

(2) 評 議 員 会

①令和3年6月25日 午前10時 第3会議室

- ・議案第1号 令和2年度事業報告について (承認)
- ・議案第2号 令和2年度会計収支決算について (承認)
- ・議案第3号 令和3年度社会福祉事業会計資金収支補正予算（第1号）（案）について (可決)
- ・議案第4号 令和3年度収益事業会計資金収支補正予算（第1号）（案）について (可決)
- ・議案第5号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会理事の選任について (可決)
- ・議案第6号 社会福祉法人野田市社会福祉協議会監事の選任について (可決)

②令和3年10月22日 午後1時30分 第3会議室

- ・報告1 臨時職員賃金要領の一部を改正する要領の制定について (報告)
- ・議案第1号 令和3年度社会福祉事業会計資金収支補正予算（第2号）（案）について (可決)

③令和4年2月15日 決議の省略による開催

- ・議案第1号 令和3年度社会福祉事業会計資金収支補正予算（第3号）（案）について (可決)

④令和4年3月25日 決議の省略による開催

- ・報告1 社会福祉法人野田市社会福祉協議会同行援護事業所虐待防止及び身体拘束適正化委員会設置要綱の制定について (報告)
- ・報告2 社会福祉法人野田市社会福祉協議会委員会規程の一部を改正する規程の制定について (報告)
- ・報告3 社会福祉法人野田市社会福祉協議会職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について (報告)
- ・報告4 社会福祉法人野田市社会福祉協議会就業規則の一部を改正する規則の制定について (報告)
- ・報告5 社会福祉法人野田市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部を改正する規則の制定について (報告)
- ・報告6 役員等賠償責任保険契約について (報告)
- ・報告7 社会福祉法人野田市社会福祉協議会財政調整基金の処分について (報告)
- ・議案第1号 令和3年度社会福祉事業会計資金収支補正予算（第4号）（案）について (可決)
- ・議案第2号 令和4年度事業計画（案）について (可決)
- ・議案第3号 令和4年度会計収支予算（案）について (可決)

(3) 監 事 会

社会福祉協議会定期監査

①令和3年5月28日 午後1時 第1会議室

- ・令和2年度の会計監査実施（監事2人） (過誤なきことを認証)

(4) 専 門 委 員 会

1) 歳末たすけあい募金配分委員会

①令和3年6月24日 民児協理事会終了後 中央公民館 講堂

- (1) 令和3年度歳末たすけあい募金配分計画（案）について

②令和3年10月21日 民児協理事会終了後 野田市役所 8階大会議室

(1) 令和3年度歳末たすけあい募金配分について

③令和4年3月24日 民児協理事会終了後 総合福祉会館 第3会議室

(1) 令和3年度歳末たすけあい募金配分結果について

2) 評議員選任・解任委員会

①令和3年6月18日 午前10時 第3会議室

(1) 社会福祉法人野田市社会福祉協議会評議員の選任について

2. 正副会長会議

社会福祉協議会の事業運営を適切かつ円滑に推進していくため、正副会長会議を開催し、事業の執行状況及び運営方針等を協議しました。

3. 会 費

「野田市社会福祉協議会の活動案内」のパンフレットを作成し、事業内容の広報啓発とともに、9月18日から25日まで市内4か所において説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の予防のため中止としました。

令和3年度会費納入総額は17,074,922円で、地区社協への会費還元金額は6,113,600円です。

なお、令和4年度に交付される会費還元金額は6,102,122円です。

○一般・特別会員数及び会費納入実績

地区社協	会員数（世帯）			納入額（円）			還元額（円）
	一般	特別	合計	一般	特別	合計	
上 町	515	14	529	257,500	14,000	271,500	141,000
中 央	582	2	584	291,200	2,000	293,200	112,000
上花輪	928	3	931	446,000	5,000	451,000	173,800
太子堂	661	0	661	330,500	0	330,500	133,600
中野台	1,750	0	1,750	875,000	0	875,000	348,200
清 水	2,139	1	2,140	1,025,800	1,000	1,026,800	399,100
東 部	1,842	0	1,842	921,000	0	921,000	383,000
中 根	1,325	0	1,325	657,200	0	657,200	268,600
宮崎柳沢	1,504	0	1,504	707,000	0	707,000	289,600
南部中央	1,044	0	1,044	522,000	0	522,000	212,200
南部東	589	0	589	294,200	0	294,200	126,200
南部北	1,714	0	1,714	821,000	0	821,000	330,000
南部南	1,865	2	1,867	774,500	2,000	776,500	281,400
南部第2	1,292	0	1,292	633,000	0	633,000	250,000
北 部	2,834	90	2,924	1,331,600	90,000	1,421,600	500,900
西 部	1,073	3	1,076	245,900	5,000	250,900	28,600
七光台	822	0	822	369,500	0	369,500	177,200
川 間	3,092	2	3,094	1,545,800	3,000	1,548,800	632,500

福 田	2,469	0	2,469	1,043,622	0	1,043,622	212,400
関 宿	713	0	713	353,300	0	353,300	141,400
二 川	2,568	2	2,570	1,279,100	2,000	1,281,100	515,900
木間ヶ瀬	2,462	0	2,462	1,176,200	0	1,176,200	456,000
事務局扱	0	0	0	0	0	0	0
合 計	33,783	119	33,902	15,900,922	124,000	16,024,922	6,113,600

○法人会員数及び納入実績

会費額 (円)	会員数 (社)	納入額 (円)
10,000	44	440,000
20,000	9	180,000
30,000	1	30,000
100,000	2	200,000
200,000	1	200,000
合 計	57	1,050,000

○会員種別・会員数及び納入実績

会員種別	会員数 (世帯・社)	納入額 (円)
一般会員	33,783	15,900,922
特別会員	119	124,000
法人会員	57	1,050,000
合 計	33,959	17,074,922

4. 歳末たすけあい見舞事業

共同募金運動の一環として、12月の1か月間「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動を展開しました。

歳末たすけあい見舞金配分事業がより効果的になるよう、歳末たすけあい募金配分委員会で配分内容を協議し、「歳末見舞金の配布」と特別養護老人ホーム入所者の方々に対する「訪問理美容サービス事業」の継続実施に加え、70歳以上のひとり暮らしで要介護1以上の方を対象に「エアコン・クリーニングサービス」を実施しました。

○歳末たすけあい見舞配分実績（歳末たすけあい見舞金配分）

支給区分	対象世帯 (件)	延べ人員 (人)	1世帯当たり (円)	支給額 (円)
要保護世帯 1人	37	37	5,000	185,000
要保護世帯 2人	67	134	6,000	402,000
要保護世帯 3人	59	177	7,000	413,000
要保護世帯 4人	36	144	8,000	288,000
要保護世帯 5人	16	80	9,000	144,000
要保護世帯 6人	6	36	10,000	60,000
要保護世帯 7人	1	7	11,000	11,000
要保護世帯 8人	0	0	12,000	0
要保護世帯 9人	0	0	13,000	0
要保護世帯 10人	1	10	14,000	14,000
合 計	223	625		1,517,000

○歳末たすけあい見舞配分実績（訪問理美容サービス）

施設名	男（人）	女（人）	合計（人）	金額（円）
特別養護老人ホーム鶴寿園（ユニット型）	13	77	90	153,000
特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）	10	39	49	83,300
特別養護老人ホーム福寿園	27	54	81	121,500
特別養護老人ホームすばる	10	41	51	76,500
複合老人ホーム楽寿園	18	30	48	72,000
特別養護老人ホーム松葉園	13	63	76	114,000
特別養護老人ホーム椿寿の里	13	62	75	112,500
特別養護老人ホームいきいきタウンのだ	16	46	62	93,000
特別養護老人ホーム閑宿ナーシングビレッジ	12	74	86	129,000
特別養護老人ホーム船形サルビア荘	18	60	78	117,000
特別養護老人ホームふれあいの里	11	55	66	99,000
合 計	161	601	762	1,170,800

○エアコン・クリーニングサービス配分実績（一世帯9,790円）

要介護度	70～79歳（人）	80～89歳（人）	90～97歳（人）	金額（円）
1	0	0	1	9,790
2	5	3	0	78,320
3	1	0	0	9,790
4	1	1	0	19,580
5	0	1	1	19,580
合 計	7	5	2	137,060

5. 善意の寄付

市民の皆様から福祉事業のために心温まる寄付が寄せられました。

①金銭（個人）

寄付者氏名	金額（円）
高井 勉 様	100,000
匿名（13件）	53,958
合計	153,958

②金銭（団体）

団体名	金額（円）
野田遊技場組合 様	50,000
技の福兆 野田七光台店 様	10,000
(株)ベルク野田柳沢店 お客様一同 様	34,899
(株)ベルク野田尾崎店 お客様一同 様	25,857
合計	120,756

③物品（個人）

寄付者氏名	物品	金額（円）
岩崎 ミヨ子 様	タオル107枚	1,070
伊藤 鷺、凜 様	本117冊、おもちゃ等48点	12,180
竹島 正義 様	おむつ36枚、パッド20枚	560
渡辺 清 様	パッド136枚	1,360
匿名（34件）	おむつ1,138枚、パッド1,523枚、おしりふき6点、マスク7枚、タオル類43枚、介護用トイレ袋40枚、衣類120点 他	29,570
合計		44,740

④物品（団体）

団体名	物品名	金額（円）
明治神宮崇敬会 野田支部 様	洗濯用洗剤40個、台所用洗剤20個	6,000
ナカタケトレーディング(株) 様	おでかけ除菌ウエットティッシュ9,600個	96,000
野田遊技場組合 様	クリスマス用菓子詰合せ434点	217,000
野田市心の健康を守る会 様	飛沫防止パーテーション3点	300
清水ボランティア あしたば 様	手ぬい雑巾100枚	1,000
(株)日本総合開発 様	お菓子1,894点	38,639
ジュピター関宿店 様	お菓子219点	2,190
匿名（6件）	おむつ554枚、パッド714枚、タオル類90枚、流しそうめんセット・輪投げセット 他	19,510
合計		380,639

※10万円以上の金品を寄付された方に感謝状を贈呈しました。

6. 児童福祉事業

子どもの遊び場管理事業

市内12か所に設置している子どもの遊び場の遊具保守点検を専門業者に委託し実施しました。

7. 高齢者福祉事業

結婚50周年記念事業

結婚50周年を迎えられた（昭和46年1月1日から12月31日までの間に婚姻された）ご夫婦21組に記念写真撮影を開催しました。

8. 障がい者（児）福祉事業

(1) 大会事務局

第47回“おひさまといっしょに”

令和3年6月18日に関宿総合公園体育館を会場として、開催予定でしたが、新型コロナウイルス

ス感染症の予防のため中止としました。

・令和3年1月26日 第1回実行委員会（書面表決）

(2) 「じょいんと」事業の開催

知的障がい者の社会参加を促進し、明るい生活形成を図ることを目的とした、ボランティアとのふれあいや体験のつどい「じょいんと」事業は、新型コロナウイルス感染症の予防のため中止としました。

9. 災害対策事業

全焼3棟（25,000円）、弔慰金1件（20,000円）、合計45,000円の災害見舞金を支給しました。

10. 福祉資金貸付事業

(1) 初期相談件数 2,917件

(2) 生活福祉資金貸付事業

①福祉費

千葉県社会福祉協議会から委託を受け、低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯の自立支援に必要な生活福祉資金貸付事業の普及啓発及び相談受付業務を行いました。

・相談件数 72件 ・貸付決定数 2件

②教育支援資金・支度費

千葉県社会福祉協議会から委託を受け、主に低所得世帯に対して就学するために必要な資金貸付事業の普及啓発及び相談受付業務を行いました。

・相談件数 117件 ・貸付決定数 9件

③総合支援資金

千葉県社会福祉協議会から委託を受け、失業者に対する総合支援資金貸付の普及啓発及び相談受付業務を行いました。

・相談件数 26件 ・貸付決定数 0件

④不動産担保型生活資金

千葉県社会福祉協議会から委託を受け、低所得の高齢者世帯に対し、居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける不動産担保型生活資金の相談受付業務を行いました。

・相談件数 12件 ・貸付決定数 0件

⑤要保護世帯向け不動産担保型生活資金

千葉県社会福祉協議会から委託を受け、生活保護世帯と認められる高齢者世帯に対し、居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける要保護世帯向け不動産担保型生活資金の相談受付業務を行いました。

・相談件数 0件 ・貸付決定数 0件

⑥緊急小口資金

千葉県社会福祉協議会から委託を受け、所得の少ない世帯に対して、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった場合に生活資金を貸し付ける緊急小口資金貸付の相談受付業務を行いました。

・相談件数 206件 ・貸付決定数 17件

(3) 特例貸付

千葉県社会福祉協議会から委託を受け、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急小口資金（特例貸付）及び総合支援資金（特例貸付）の相談受付業務を令和2年3月25日より行いました。緊急小口資金（特例貸付）・総合支援資金（特例貸付）概要は以下のとおりです。

	緊急小口資金	総合支援資金
貸付金額（上限）	20万円	単身世帯：15万円 複数世帯：20万円
借入期間	1回	最大3ヶ月間
措置期間	1年	1年
償還期間	2年以内	10年以内

なお、総合支援資金の借入期間は最大3ヶ月間となっておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により延長申請（3ヶ月間）、再貸付申請（3ヶ月間）の最大9か月間の借入へと変更となりました。

①緊急小口資金

・相談件数 1,032件 ・申請件数 433件

②総合支援資金

(1) 初回申請分

・相談件数 704件 ・申請件数 260件

(2) 延長申請分

・相談件数 79件 ・申請件数 59件

(3) 再貸付申請分

・相談件数 465件 ・申請件数 252件

(4) 福祉資金貸付事業

野田市社会福祉協議会の独自の制度として、低所得世帯を対象に福祉資金の無利子貸付を行い、生活の安定と自立更生の促進を図りました。

また、滞納者に対しては、生活実態を踏まえ償還指導を実施しました。

・相談件数 155件 ・貸付決定 84件

○福祉資金決定及び償還実績（令和3年度分）

資金名	申請		決定		償還状況		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	償還率
福祉資金	84	813,000円	84	813,000円	63	566,000円	69%

○福祉資金貸付事業実績（累計）

資金名	貸付額	償還額	償還残額
福祉資金	10,133,700円	9,417,700円	716,000円

(5) 行路者旅費支給事業

行路者に対して上限を320円とする交通費の支給を行いました。

相談件数 1件

申請及び決定件数 0件

11. 広報活動

(1) 広報紙「社福のだ」の発行

当協議会で実施している事業や地区社協の活動状況等を市民の方に知っていただくために年間3回発行（約48,000部）し、自治会長を通じて各世帯に配布しました。

<主な掲載内容>

①第126号（令和3年8月発行 4頁）

成年後見支援センター、事業報告・決算、会費・赤い羽根共同募金のお願い、事業計画・予算、エアコンクリーニング事業の案内、貸出、寄せられた善意他

②第127号（令和3年11月発行 4頁）

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のお願い・成年後見支援センター、結婚50周年記念事業、会費納入のお願い、ポスターコンクール、貸出案内、貸出、寄せられた善意他

③第128号（令和4年3月発行 4頁）

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金報告、成年後見支援センター、ファミリー・サポート・センター、会費報告、セレ・ショップやすらぎ、フードバンクの案内、貸出、寄せられた善意他

(2) 「野田市社会福祉協議会の案内」の作成（令和3年9月）

社会福祉協議会の活動内容をわかりやすくまとめたパンフレットを作成（48,000部）し、会費の説明会にあわせて資料を発送し、各自治会長に全戸配布を依頼しました。

(3) ホームページの運営

ボランティア情報や地区社協の活動など最新の情報提供をしました。

また、Twitter及びFacebook、Instagramを活用し、情報提供に努めました。

（ホームページアドレス <http://www.nodasyakyo.or.jp>）

12. 相談事業

(1) 心配ごと相談事業

心配ごと相談員を委嘱し、市民の日常生活上の悩みごと、心配ごとに助言指導を行う心配ごと相談所を開設しました。

また、総合相談や援助活動を推進するため、相談所の運営強化にも努めました。

①研修会

※令和4年2月に研修会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の予防のため中止としました。

②事業概要

- 1) 相談所 1か所（総合福祉会館相談室）
- 2) 相談日 毎週火曜日及び毎月第1金曜日
- 3) 相談日数 延62日
- 4) 相談件数 延18件（来所者数13人）（電話相談数4人）

○心配ごと相談実績

(単位：件)

相談事項	件数	取扱 件数	処 理 状 況			
			解決	再来	民生委員	他機関
生計	0	0	0	0	0	0
年金	0	0	0	0	0	0
職業・生業	0	0	0	0	0	0
住宅	0	0	0	0	0	0
家族	4	2	0	0	1	1
結婚	0	0	0	0	0	0
離婚	1	0	0	0	1	0
健康・保健・衛生	1	0	0	0	0	1
医療	0	0	0	0	0	0
人権・法律	0	0	0	0	0	0
財産	2	0	0	0	2	0
障がい者（児）福祉	0	0	0	0	0	0
老人福祉	1	0	0	0	1	0
苦情	1	1	0	0	0	0
その他	8	3	0	0	1	4
合 計	18	6	0	0	6	6

1 3. 野田市成年後見支援センター運営事業

認知症や精神障がい、知的障がいなどの理由で判断能力が十分でない方が、地域で安心して暮らせるように、成年後見制度や日常生活自立支援事業を活用し支援しました。

(1) 相談支援事業

成年後見制度や日常生活自立支援事業等に関する相談支援を実施しました。

①相談件数 133 件（延べ 194 回）

・相談の内訳

福祉サービスの利用手続き等	4 件
日常的な金銭管理等	75 件
財産保全等	1 件
医療に関する事項	1 件
今後の生活設計	4 件
制度の問い合わせ	3 件
成年後見制度に関すること	42 件
その他	3 件

(2) 後見人サポート事業

野田市在住の成年後見人等（成年後見人・保佐人・補助人）や野田市在住の方を支援する成年後見人等の相談を受け、後見活動を支援していますが、令和 3 年度に相談、支援はありませんでした。

(3) 法人後見事業

野田市社会福祉協議会が法人として成年後見人等になり、個人で成年後見人等に就任した場合と同様に、判断能力が十分でない方の支援を行いました。

- ①新規受任件数 5件 (後見 5件)
- ②終了件数 2件
- ③現受任件数 17件 (後見 15件 保佐 2件)
- ④後見支援員配置状況
 - ・現任者数 6人
 - ・登録者数 6人 (市民後見人養成講座修了者)

(4) 市民後見人養成講座

野田市からの委託を受け、市民後見人養成講座を実施していますが、令和3年度の実施はありませんでした。

(5) 普及啓発活動

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及啓発活動を行いました。

- ①東葛市民後見人の会 創立10周年記念シンポジウム
 - 主 催 認定NPO法人東葛市民後見人の会
 - 実施日 令和3年10月29日
 - 場 所 けやきプラザ ふれあいホール (我孫子市)
 - 内 容 基調講演シンポジストとして登壇
 - 参加者 133名

(6) 意思決定支援事業

市民を対象に、エンディングノートの無料配布を行いました。また、エンディングノートの書き方や活用方法を周知する目的で「エンディングノート書き方講座」を実施しました。

- ①配布部数 636冊
 - ・男女の内訳
 - 男性 256人 (40.3%) 女性 380人 (59.7%)
 - ・年齢の内訳

年齢	人数 (割合)	年齢	人数 (割合)
39歳以下	7人 (1.1%)	70歳代	309人 (48.6%)
40歳代	11人 (1.7%)	80歳代	133人 (20.9%)
50歳代	28人 (4.4%)	90歳以上	11人 (1.7%)
60歳代	137人 (21.5%)		

- ②エンディングノート書き方講座

- 1) 主 催 福田長寿大学
 - 実施日 令和3年6月30日
 - 場 所 福田公民館
 - 参加者 31名
- 2) 主 催 中央公民館いきいきライフセミナー
 - 実施日 令和3年11月12日
 - 場 所 中央公民館
 - 参加者 11名

3) 主 催 中央高齢者なんでも相談室（えんがわ事業）

実施日 令和3年12月23日

場 所 紙ふうせん

参加者 5名

4) 主 催 野田市社会福祉協議会

実施日 令和3年4月10日

場 所 第3会議室

参加者 33名

5) 主 催 野田市社会福祉協議会

実施日 令和3年10月29日

場 所 やすらぎの郷

参加者 17名

(7) 日常生活自立支援事業

千葉県社会福祉協議会の委託を受け、判断能力に不安のある高齢者や障がい者に対し、住み慣れた地域で生活できるよう、定期的な訪問により、福祉サービスを利用する支援や日常的な金銭管理の支援を実施しました。

①新規契約者数 23人

②解約者数 17人

・解約理由の内訳

死亡 7人

成年後見人等の選任 5人

本人の意思 3人

親族管理 2人

③現契約者数 92人

④生活支援員配置状況

・現任者数 19人

・登録者数 8人

⑤研修会

新型コロナウイルス感染症の予防のため中止としました。

(8) 野田市成年後見支援センター運営委員会の開催

①令和3年5月13日 午前10時 委員：5人 総合福祉会館第1会議室

・法人後見事業の受任に関わる審査 2件

・野田市成年後見支援センターの運営状況について（報告）

・その他

②令和3年9月1日 午前10時 委員：4人 総合福祉会館第3会議室

・法人後見事業の受任に関わる審査 1件

・その他

③令和3年10月6日 午前10時 委員：4人 総合福祉会館第1会議室

・法人後見事業の受任に関わる審査 1件

・その他

④令和4年2月1日 午前11時 委員：5人 総合福祉会館第1会議室

- ・法人後見事業の受任に関わる審査 1件
- ・その他

14. 地域ぐるみ福祉ネットワーク事業

地区社協活動を支援するため、地区社会福祉協議会連絡会を6月と3月の年2回開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の予防のため、3月は中止としました。

各地区社協においても、「ふれあい・いきいきサロン事業」や地域の特性に応じた事業を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の予防のため、事業を見直し、「ゆうあい訪問」等を実施しました。

コロナ禍における地区社協の方針を示すため「新型コロナウイルス感染症に配慮した地区社協活動ガイドライン（改訂版）」を作成し、各地区社協に配布しました。

会費還元金については、各地区社協の令和2年度の会費納入金額に応じて還元をしました。

(1) 地区社会福祉協議会連絡会（地区社協ボランティアスタッフ懇談会と共催）

令和3年6月29日 午後1時45分 中央公民館講堂

- ・講演「災害ボランティアセンターについて」
（講師：公益財団法人SL災害ボランティアネットワーク 天寺常務理事）
- ・事務連絡「コロナ禍における地区社会福祉協議会活動について」
「地区社協補助金、還元金について」

(2) 地区社会福祉協議会補助金

地区社会福祉協議会補助金

1) 補助金額

- 野田市 ……2,200,000円（1地区100,000円×22地区社協）
 - 野田市社会福祉協議会 ……2,214,702円（1会員あたり63円×会員数 35,154世帯）
- ※野田市社会福祉協議会からの補助金は、前年度の会員数（世帯数）に基づき算出

2) 対象地区…22地区社会福祉協議会

15. ボランティアセンター運営事業

いつでも・どこでも・誰もがボランティア活動に参加できる環境や機会づくりを進め、ボランティアの振興とともに活動の拠点となるボランティアセンターの機能強化に取り組みました。

(1) ボランティアの登録の状況

区分	団体数	登録者数
団体登録	82団体	1,301人
個人登録		113人
合計	82団体	1,414人

(2) ボランティアセンター運営委員会の開催

①令和3年7月16日 午前10時 委員：7人 総合福祉会館第一会議室

- ・令和2年度事業報告及び令和3年度事業について

※令和4年3月16日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の予防のため中止としました。

(3) ボランティアの育成と活動促進

①ボランティア活動の登録・相談・斡旋（紹介）

市民のボランティア活動への関心を高め、活動参加へのきっかけづくりを推進するため、活動の相談に応じるとともに登録並びに福祉団体、社会福祉施設等からの要請に応じ、ボランティアの派遣を行いました。

- ・相談件数…266件
- ・斡旋件数…32件

②ボランティア講座等の開催

1) 地区社協ボランティアスタッフ懇談会（地区社協福祉協議会連絡会と共催）

地区社会福祉協議会連絡会を参照。

2) 車いす・目かくし歩行体験講座

（生涯学習ボランティアサークルほのぼの会と共催・一部の地区では地区社会福祉協議会とも共催）

新型コロナウイルス感染症の予防のため、体験講座を中止しましたが、各学校への教材の貸出は実施しました。

- ・実施日及び実施校

令和3年 9月7日 野田市立七光台小学校

令和4年 1月24日 野田市立岩木小学校

令和4年 2月16日 野田市立尾崎小学校

3) 夏休みボランティア体験

①高齢者疑似体験コース（1日体験）

- ・実施日…令和3年7月29日 体験：3名

(4) ボランティアの啓発・発掘

①第20回市民ふれあいハートまつり

新型コロナウイルス感染症の予防のため中止としましたが、市内小・中学校、特別支援学校に在籍する児童・生徒に対し、福祉への理解と関心を深め福祉の心を育てるため、ポスターコンクールを実施し、以下の日程で作品を展示しました。

1) 受賞作品15点

- ・日時…令和3年11月4日（木）から9日（火）まで
- ・場所…市役所1階ふれあいギャラリー

2) 応募作品120点

- ・日時…令和3年11月27日（土）から29日（月）まで
- ・場所…野田市中心公民館1階講堂

②ボランティア情報の提供

ボランティア活動希望者が活動を始めのきっかけになるよう、広報紙「社福のだ」や社会福祉協議会ホームページにボランティア情報を掲載することに加え、Twitter及びFacebookを活用し、様々な形で情報提供に努めました。また、6月21日よりInstagramを開設し、情報提供体制の拡充に努めました。

1) ボランティア通信の発行

- ・発行…奇数月 15 日
- ・部数…毎号 2,000 部
- ・配付方法…登録ボランティアに郵送、学校・公共施設・駅・郵便局等に備え置く。

2) ボランティア募集記事の作成、掲示

- ・発行…不定期
- ・掲示場所…ボランティア掲示板・公共施設・店舗等に掲示

3) ボランティア掲示板の設置

社会福祉協議会事務所入口及び市役所ロビーに「ボランティア掲示板」を設置し、ボランティア募集や民間助成金に関する新しい情報を掲示しました。

③福祉読本発行

中学卒業生徒祝品として、1,520 部発行しました。

④出張広報活動の実施

市内の商業施設等に出向き、ボランティアセンターの広報活動を実施しています。全 2 回を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の予防のため中止としました。

(5) ボランティア活動保険事業

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中の事故によるケガや損害賠償責任を補償することを目的に創設されたもので、ボランティアセンターに登録しているボランティア全員が加入しました。

(6) ボランティア連絡協議会への支援

ボランティア連絡協議会の運営や事業活動に対する支援を行い、ボランティア活動の活発化に努めました。

(7) 活動のための備品の貸出事業

ボランティア活動に必要な備品等の貸出を行いました。

○貸出備品

- ・高齢者疑似体験セット
- ・液晶プロジェクター
- ・ワイヤレスマイク
- ・点字練習器
- ・福祉教育用車椅子
- ・ブルーレイプレイヤー
- ・ビデオプロジェクター
- ・福祉DVD
- ・オーバーヘッドカメラ
- ・スクリーン
- ・遊具（輪投げ、魚釣りゲーム、スカットボール）

(8) 使用済み切手収集活動

市民の方々から寄せられた使用済み切手は、ボランティア活動の推進に活用させていただきました。

16. 社会福祉大会

- ・千葉県社会福祉大会（令和 3 年 11 月 16 日）

三井ガーデンホテル千葉において、第 71 回千葉県社会福祉大会が、千葉県・千葉県社会福祉協議会・千葉県共同募金会の共催により開催され、民生委員・児童委員功労 15 名、優良支部・地区社会福祉協議会 1 団体（太子堂地区社会福祉協議会）が表彰されました。

17. 福祉団体等への後援・助成事業

(1) 福祉団体への助成

下記の団体に対して助成金を交付し、その活動を通じて社会福祉事業の推進に努めました。

○団体助成実績

(単位：円)

団体名	金額	団体名	金額
民生委員児童委員協議会	250,000	母子寡婦福祉会	150,000
女性団体連絡協議会	230,000	遺族会	250,000
子ども会育成連絡協議会	260,000	ゲートボール協会	70,000
赤十字奉仕団	190,000	更生保護女性会	50,000
身体障がい者福祉会	120,000	肢体不自由児者父母の会	70,000
いきいきクラブ連合会	360,000	視覚障がい者協会	30,000
さくらの友の会	50,000	聴覚障害者協会	30,000
手をつなぐ親の会	100,000	スカウト連絡協議会	170,000
ボランティア連絡協議会	200,000	自治会連合会	1,000,000
保護司会	150,000	グラウンド・ゴルフ協会	70,000
合計		3,800,000	

(2) 開催事業等に対する助成

新型コロナウイルスの影響により、開催事業に関する助成はありませんでした。

(3) 事業に対する後援

下記の5事業に対する後援を行いました。

- ・「市民後見人養成講座（基礎編）」（認定NPO法人 東葛市民後見人の会）
- ・「咲む」上映会（野田市聴覚障害者協会・野田市手話サークルけやきの会）
- ・設立10周年記念シンポジウム〈基調講演とミニ報告・討論〉
（認定NPO法人 東葛市民後見人の会 野田支部）
- ・しみん講座「自分の財産と権利を守る成年後見制度のことを！」（中止）
（認定NPO法人 東葛市民後見人の会 野田支部）
- ・野田市民セミナー「遺言書の作成・生前贈与」（NPO法人 老いじたくあんしんねっと）

18. 野田市委託事業

(1) 手話講習会

手話奉仕員養成講座（前期・後期）（各27回）を実施しました。

開催日及び 開催場所	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日…前期課程 7月12日、7月19日、10月11日、10月13日、10月18日、10月20日、 10月25日、10月27日、11月1日、11月8日、11月10日、11月15日、 11月17日、11月22日、11月29日、12月8日、12月13日、12月15日、 12月20日、12月27日、1月17日、1月24日、1月31日、2月7日、2月 14日、2月21日、2月28日（全27回）
---------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・後期課程 7月15日、7月29日、10月7日、10月14日、10月21日、10月28日、11月4日、11月11日、11月18日、11月25日、12月2日、12月9日、12月16日、12月23日、1月6日、1月13日、1月20日、1月27日、2月3日、2月17日（内1日2講座実施を含む全27回） ・開催場所…総合福祉会館 第3会議室
対象者及び定員	<ul style="list-style-type: none"> ・定員…20人 ・対象者…前期課程 <ul style="list-style-type: none"> ・市内在住・在学・在勤で手話学習の経験のない聴覚障がい者の福祉に関心と理解があり、受講後も活動を続けられる方 ・手話奉仕員養成講座を修了していない方 ・将来、手話通訳者を目指す方 後期課程 <ul style="list-style-type: none"> ・市内在住・在学・在勤で手話学習の経験のない聴覚障がい者の福祉に関心と理解があり、受講後も活動を続けられる方 ・前期課程を修了している方
受講者及び修了者	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者…前期課程：18人（内途中辞退者・未修了者8名含む） 後期課程：5人 ・修了証書交付…前期課程：10人 後期課程：5人
講師依頼先	社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会

(2) 留守家庭学童保育所運営事業

令和3年度は野田市より合計15施設を受託し、運営を行いました。

「子ども・子育て支援制度」に基づき、在籍児童数50人以上かつ出席児童数が40人を超える学童保育所についてはクラス分けを実施し指導員数を増員し運営しました。

学童保育所名	北部学童保育所	みずき学童保育所
設置場所	北部小学校隣接地	みずき小学校敷地内
開設日	平成13年4月2日	平成13年7月9日
入所児童定員	106人	105人
入所児童数	78人	122人
配置指導員数	5人配置（内1人補助指導員）	7人配置（内3人補助指導員）
学童保育所名	三ヶ尾学童保育所	関宿学童保育所
設置場所	福田第二小学校敷地内	関宿小学校舎内
開設日	平成14年4月1日	平成17年7月1日
入所児童定員	46人	40人
入所児童数	19人	19人
配置指導員数	2人配置	2人配置

学童保育所名	清水第二学童保育所	岩木第二学童保育所
設置場所	清水台小学校舎内	岩木小学校舎内
開設日	平成22年10月1日	平成22年10月1日
入所児童定員	96人	116人
入所児童数	75人	73人
配置指導員数	7人配置（内3人補助指導員）	7人配置（内3人補助指導員）
学童保育所名	七光台第二学童保育所	尾崎第二学童保育所
設置場所	七光台小学校舎内	尾崎小学校舎内
開設日	平成22年10月1日	平成22年10月1日
入所児童定員	58人	38人
入所児童数	48人	23人
配置指導員数	5人配置（内2人補助指導員）	2人配置
学童保育所名	関宿中央第二学童保育所	野田第二学童保育所
設置場所	関宿中央小学校舎内	中央小学校舎内
開設日	平成22年10月1日	平成22年11月1日
入所児童定員	40人	111人
入所児童数	36人	63人
配置指導員数	2人配置	5人配置（内2人補助指導員）
学童保育所名	山崎第二学童保育所	柳沢第二学童保育所
設置場所	山崎小学校舎内	柳沢小学校舎内
開設日	平成22年11月1日	平成22年11月1日
入所児童定員	38人	38人
入所児童数	33人	35人
配置指導員数	2人配置	2人配置
学童保育所名	宮崎第二学童保育所	宮崎第三学童保育所
設置場所	宮崎小学校敷地内	宮崎小学校校舎内
開設日	平成23年4月1日	平成30年1月4日
入所児童定員	47人	39人
入所児童数	39人	28人
配置指導員数	5人配置（内3人補助指導員）	3人配置（内1人補助指導員）
学童保育所名	南部学童保育所	
設置場所	うめさと子ども館内併設	
開設日	平成30年4月1日	
入所児童定員	38人	
入所児童数	47人	
配置指導員数	3人配置（内1人補助指導員）	
開設時間	学校開設日…小学校1年生の下校時から午後7時まで 学校休業日…午前8時から午後7時まで	

(3) 育児支援家庭訪問事業訪問員派遣業務

産褥期にある母親のいる家庭に加え、子育てに対して精神的・肉体的負担のある家庭等に訪問支援員を派遣し、育児・家事等の援助や指導を行い、家庭での安定した育児支援を図りました。

①利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働ヘルパー(人)	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	15
利用者(人)	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	15
利用日(日)	1	2	3	5	4	4	4	4	8	8	9	8	60
利用時間(時間)	2.0	3.0	5.0	10.0	8.0	8.0	8.0	8.0	16.5	16.0	17.0	15.5	117.0

②利用内容

サービスの内容	利用者数
(1) 家庭内での育児に関する具体的な支援	15人
ア 出産後おおむね1年以内の母親に対する育児指導及び家事等の援助	12人
イ 家庭養育上の問題を抱え支援を希望する家庭に対する養育相談及び援助、養育環境の維持及び改善並びに児童の発達保障等のための相談及び支援	3人
ウ 児童が児童養護施設等を退所し、又は里親委託の終了した後に、家庭への復帰が適切に行われるための相談及び支援	0人
エ 特定妊婦がいる家庭に対する安定した出産及び育児を迎えるための相談及び支援	0人
オ その他市長が必要と認める支援	0人
(2) 家庭内における発達指導	0人

(4) ファミリー・サポート・センター事業

会員を増強し、仕事と育児の両立支援のための環境整備及び児童の健全育成を図りました。

①会員数

区分	提供会員	利用会員	両方会員	合計
会員数	131人	1,037人	38人	1,206人

②活動状況(単位:件)

	内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
1	保育所・幼稚園の送り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	保育所・幼稚園の迎え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	保育所・幼稚園の登園前の援助及び送り	99	124	130	120	89	103	120	111	111	80	77	113	1,277
4	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の援助	63	56	61	66	47	41	51	57	47	35	40	49	613
5	保育所・幼稚園の帰宅後の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	学童の放課後の援助	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
7	学童保育のお迎え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	学童保育のお迎え及び帰宅後の援助	8	9	13	10	11	4	4	10	11	12	13	14	119

9	学童保育からの帰宅後の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	子どもの病気時の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	保育所・学校等休み時の援助	0	7	2	10	4	0	10	4	14	12	14	4	81
12	保育所等施設入所前の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	0	0	0	0	0	5	5	0	1	0	0	8	19
14	保護者等の求職活動中の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
16	保護者等の買い物等外出の場合の援助	2	4	4	4	3	4	11	4	6	2	2	2	48
17	保護者等の病気、その他急用の場合の援助	25	50	49	63	30	46	71	40	48	26	29	22	499
18	学校の送り	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
19	家族等の通院等の場合の援助	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
20	習い事の送迎	55	55	78	57	41	48	73	75	73	59	39	45	698
21	学校の迎え	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	11
22	学童保育所等への送りと援助	20	0	2	24	59	5	3	3	13	11	3	17	160
	月 計	286	305	339	354	284	257	348	304	324	237	223	282	3,543

③会員に対する講習会等の開催

区 分	回 数	講 師 等 人 員	受 講 者 数	開 催 場 所
入会説明会	65回	アドバイザー4人	延65人	総合福祉会館
基礎研修会	4回	講師4人	延45人	総合福祉会館
事例発表・交流会	0回	事例発表者0人・講師0人	延0人	総合福祉会館

④アドバイザー及びサブ・リーダーの配置等

区 分	本年度配置数	稼働日数	区 分	本年度配置数	稼働日数
アドバイザー	4人	延672日	サブ・リーダー	7人	延103日

⑤アドバイザー及びサブ・リーダーの連絡調整会議の開催

回数	参加人数	開催場所
6回	延101人	総合福祉会館

⑥ファミリー・サポート・センターと保育所との連絡会議の開催

回数	参加人数	開催場所
56回	延 108人	保育所・学童保育所・私立幼稚園・小学校・特別支援学校

⑦広報紙の発行

広報紙の名称	発行回数	発行部数	主な配布先
ぼんぼこ通信	1回	12,000部	会員・保育所・小学校・公立幼稚園・子ども館・公民館・保健センター・図書館・児童家庭課・コミュニティ会館他

(5) 総合福祉会館管理事業

地域福祉活動の拠点である野田市総合福祉会館の管理運営を市から受託しました。

- ・利用登録団体…249団体(令和4年3月末時点)

○利用実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第1	40	38	38	22	16	0	42	41	38	37	26	37	375
第2	38	18	21	21	7	0	25	26	31	22	10	28	247
第3	44	34	39	50	36	0	48	51	47	38	39	32	458
録音室	18	6	3	4	3	12	15	16	18	14	14	10	133
合計	140	96	101	97	62	12	130	134	134	111	89	107	1,213

※令和3年9月1日から令和3年9月30日までの間、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議室の利用禁止。

※令和3年10月1日以降、制限付きで会議室の利用を再開。

(6) 児童館管理事業

市内子ども館6館の月・火曜日・祝日の管理業務を受託しました。

- ・場 所…中央、うめさと、山崎、谷吉、七光台、関宿の各子ども館
- ・指導員数…21人(正規指導員19人、代替2人)
- ・開館日数…114日

(7) 関宿福祉センターやすらぎの郷管理運営事業

○利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数(人)	68	74	67	50	50	0	780
内訳							
浴室・娯楽室(人)	0	0	0	0	0	0	705
会議室(人)	68	74	67	50	50	0	75
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数(人)	914	1,060	1,064	1,116	1,274	6,517	
内訳							
浴室・娯楽室(人)	864	968	1,000	1,057	1,189	5,783	
会議室(人)	50	92	64	59	85	734	

※令和3年9月1日から令和3年9月30日までの間、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用禁止。

※令和3年10月1日以降、制限付きで施設の利用を再開。

(8) 点字・声の広報等発行事業

野田市報の録音 CD 及び点訳（ダイジェスト版）を作成し、視覚障がいのある希望者に送付しました。

○音訳 CD

- ・作成 …朗読グループ「あいの会」
- ・発行回数…年間 24 回（毎月 1 日号、15 日号）
- ・利用者数…20 人

○点字（ダイジェスト版）

- ・作成 …「点訳の会」
- ・発行回数…年間 24 回（毎月 1 日号、15 日号）
- ・利用者数…4 人

(9) 介護支援ボランティアポイント事業

市内在住の 65 歳以上の方を対象に介護支援ボランティア登録説明会を開催し、介護保険適用施設等でのボランティア活動の支援及び介護支援ボランティアポイント事業に関わる相談等の業務を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の予防のため中止としました。

○活動従事者…260 人

19. 野田市と共催事業

野田市との共催により、第 2 次世界大戦において戦死した御霊を敬うため、戦没者追悼式を令和 3 年 11 月 5 日、午後 2 時より櫛のホールで開催しました。当日は、遺族及び来賓など 26 人が出席し、献花を行いました。

20. 自主財源確保のための活動

公共施設の中に自動販売機及びコピー機を設置し、自主財源の確保に努めました。

また、社会福祉協議会事務局及び関宿出張所に、不要入れ歯回収ボックスを設置しました。

21. 野田市斎場売店事業

野田市斎場における市民の利便性の確保と精神障がい者の社会参加の促進に努めました。

(1) 運営状況

- ①営業日 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までを除く日
(ただし、斎場の利用がある場合はこの限りでない)
- ②開設時間 原則として午前 9 時から午後 6 時まで
※通夜の依頼がある場合は、午後 6 時以降も対応
- ③従事者体制 当事者 3 人 支援者 9 人

(2) 野田市斎場売店事業運営委員会の開催

- ①令和 3 年 7 月 30 日 午前 10 時 委員：5 人 総合福祉会館第 3 会議室
 - ・委員長、副委員長の選出について
 - ・令和 2 年度の運営状況について（報告）

- ・令和3年度の取組状況について
- ・支援状況の報告

②令和4年3月29日 午前10時 委員：4人 総合福祉会館第1会議室

- ・令和3年度の運営状況について（報告）
- ・令和4年度予算案について
- ・その他

22. 同行援護事業

障害者総合支援法に基づく同行援護事業（視覚障がい者に対する外出時の支援）を実施しました。

ガイドヘルパー派遣実績

- ・ガイドヘルパー数 17人
- ・契約利用者数 41人
- ・派遣件数 312件

○派遣件数内訳

（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活	7	7	8	15	15	6	11	9	10	4	5	4	101
医療	10	9	13	11	9	10	14	11	12	6	11	8	124
教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
官公庁	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
団体	15	4	2	8	3	1	2	9	6	7	2	9	68
その他	0	0	0	1	0	1	0	0	15	0	0	0	17
合計	33	20	23	35	27	18	28	29	43	17	18	21	312

23. 貸出事業（自主事業）

チャイルドシート、車いす及び各種福祉車両の貸出を実施しました。

(1) チャイルドシート貸出事業

少子化対策の一環として、交通安全の普及啓発と健康で安全な子育て支援を目的にチャイルドシートの貸出を実施しました。

① チャイルドシート保有台数 270 台

種別	乳幼児用	学童用	合計
台数	212	58	270

②貸出事業実績

区分	貸出件数（件）		
	長期用	短期用	合計
乳児用	26	13	39
幼児用	52	44	96
学童用	26	9	35
合計	104	66	170

(2) 車いす貸出事業

市民や団体から寄贈された車いすを有効活用し、無料貸出を行いました（本部事務局所有の6台については、令和4年9月30日まで新型コロナウイルスワクチン接種対策室へ貸出）。

	本部事務局	関宿出張所	合計
所有台数	37台	12台	49台
利用者数（延人数）	328人	27人	355人
貸出日数	6,199日	684日	6,883日

(3) 車いす対応軽自動車「たんぼぼ号」貸出事業

車いす対応軽自動車の貸出を行い、障がい者等に対する社会参加の促進を図りました。

①たんぼぼ3号貸出実績（関宿出張所配備）【令和3年9月廃車】（単位：件）

区分／月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出先	個人	4	0	3	4	4	2	0	0	0	0	0	0	17
	施設・団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		4	0	3	4	4	2	0	0	0	0	0	0	17

②たんぼぼ5号貸出実績（本部事務局配備）（単位：件）

区分／月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出先	個人	6	5	4	7	3	4	6	9	7	8	5	3	67
	施設・団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		6	5	4	7	3	4	6	9	7	8	5	3	67

③たんぼぼ6号貸出実績（本部事務局配備）（単位：件）

区分／月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出先	個人	5	3	3	6	3	3	5	5	5	6	4	8	56
	施設・団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5	3	3	6	3	3	5	5	5	6	4	8	56

④たんぼぼ7号貸出実績（本部事務局配備）（単位：件）

区分／月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出先	個人	3	3	5	7	3	4	4	3	8	7	6	7	60
	施設・団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		3	3	5	7	3	4	4	3	8	7	6	7	60

(4) 車いす対応普通自動車「ゆうあい号」貸出事業

車いす対応普通自動車の貸出を行い、障がい者等に対する社会参加の促進を図りました。

○ゆうあい号貸出実績（本部事務局配備）（単位：件）

区分／月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出先	個人	7	4	7	7	2	3	4	4	8	5	11	9	71
	施設・団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		7	4	7	7	2	3	4	4	8	5	11	9	71

(5) さわやか号の貸出事業

福祉団体や市民団体等に対して活動支援を目的に 29 人乗りマイクロバス「さわやか号」の貸出を実施しました。

○貸出実績（本部事務局配備）

（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2

※4月1日から10月31日までの間、新型コロナウイルス感染症の予防のため、貸出を中止とし、11月1日より制限付きで貸出を再開しました。

令和3年度事業報告には、社会福祉法第45条の2第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年6月

社会福祉法人野田市社会福祉協議会